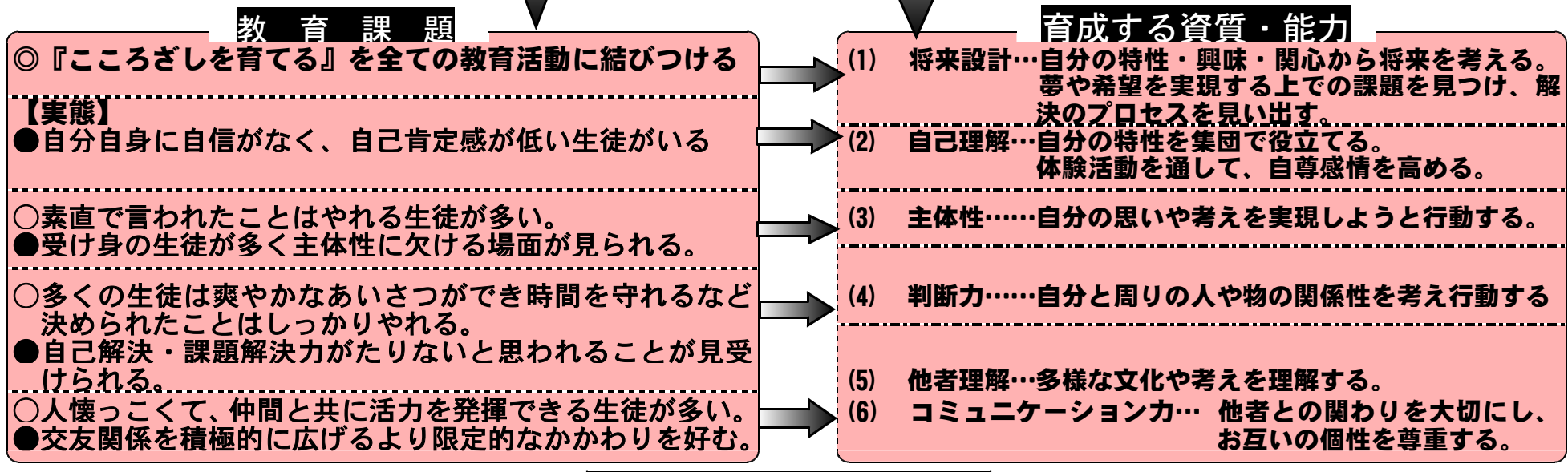


川崎小:正しく豊かにたくましく
 勝間田小:かしこさ あいがたさ しなやかさ

細江小:強く正しくすこやかに
 坂部小:心豊かでたくましく坂部っ子



榛中ならではの特色ある教育

【ロード制の推進】
 1年間を見通し生徒が具体的な目標（ゴール）をイメージさせて道筋を立てて取り組む。

集団づくり → 誇りづくり → 感動 → 学び → 感謝

【スタッフ制の推進】
 校内組織を5部編成として部長を中心に各部からの具体的な提案を基に学校運営を推進していく。
 ビルドアップによる組織と運営

自学部 共励部 鍛錬部 事務部 教務部

【学年主任を中心とした学年運営の推進】
 各学年主任が学校の中核となって学年運営を推進する。また他学年との連携も適切に持ちながら、学校全体としてのバランスを保つ。

学年主任者会 こころざし育成会（企画）

【生徒主体の生徒会活動】
 榛中5つの誇りにはすべて「心」が付いている。この誇りを『本物』の活動とさせていくことで生徒の主体性をさらに伸ばしていく。

心つながる挨拶 心正す服装 心かまえる時間

心みがく清掃 心ひとつに合唱

【コミュニティー・スクール導入】

- 学校運営協議会の発足
- 地域人材活用による業務整理
 - ・地域に任せることと学校のやるべきことの分け
- 学校応援団づくり
 - ・環境整備、50周年、職場体験、部活動など

【市教育委員会指定小中連携事業】
 令和3・4年指定…発表：令和5年度
 榛原中学校区ならではの連携のあり方を模索する
 ・今ある「こころざしを語る会」を有効に活用する
 ・研修を中心に相互の授業を見合う・合同研修
 令和4年は生徒指導の在り方
 ※指定にとらわれない持続可能な小中連携

経営の重点と具体的方策

★本年度重点的に育成する資質・能力「主体性」「判断力」

***生徒が主体性や判断力が発揮できたと感じる職員 80%**

★教育活動全体を通して起郷家教育の推進＝「こころざしを育てる」

★失敗を許容し、生徒に任せ行動させる場面を意図的につくり主体性を育てる

★自分や自分たちで決定し、行動する場面を意図的につくり判断力を育む

(1) 生徒が粘り強く思考を続けるための授業改善の推進 【自学・研修】

- *授業がわかる90%以上（楽しい→わかる）
- 学習成果を的確に捉える学習評価の在り方研究（3観点の評価の在り方）
- 一人1台の端末を有効活用した授業の在り方を追究
- 小中相互の授業公開、合同研修会の実施
- 起郷家教育の理念を反映した総合的な学習の時間（DF）の在り方追求

(2) 生徒主体の教育活動の推進 【共励】

- *行事・生徒会活動への積極的参加95%以上（よくできている35%）
- 生徒が考え、創り前面出る行事の創造（失敗を許容する）
 - ・「目指す姿」を明確にさせ、行動意欲を高める
 - ・「生徒に任せる場」と「教師が整える場」の明確化と意図的設置
- 5つの誇りを「本物」の誇りづくり
 - ・各専門委員会で連携させ、課題解決を図る
 - ・見える化を図る
- 部活動の在り方を検討
 - ・外部での活動の位置付け 部活動指導員等への橋渡し模索
- 各活動、行事等実施後の反省評価を生かし、次年度プラン年度内策定

(3) 信頼に応え、地域の誇りとなる学校づくり 【鍛錬】

- *学校が楽しい90%以上（昨年度81%）
- 情報共有・組織対応・早期対応の実施
- 規範意識や他者意識を持たせ、自治力自浄力のある集団づくり
- 判断力を育む学校生活
 - 自己肯定感を高め、主体的に活動する態度を育む 関わり

(4) やりがい、働きがいのある学校づくり 【教務・事務】

- *働きがいがある 80%以上（昨年度70%）
- 教職員誰もが経営参画しやすい体制をつくり
 - ・ビルドアップを意識したスタッフ制
 - ・主任を中心とした学年体制
- コミュニティー・スクールの組織確立と地域と連携した活動の推進
- 持続可能な小中連携のあり方追求（自学・研修との連携）
- 各種たよりやHP、報道連携等で積極的に情報発信をする。
- 教育の質を高めるための学校の働き方改革の研究
 - ・各自が勤務状況を把握できるシステム化
 - ・提出物等のデジタル化
 - ・外部人材の有効活用
 - ・部活動の在り方
- 組織を活かした教育支援を行う共同学校事務室の運営